

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2014年 11月号 (No. 71)

平井会計事務所 税理士 平井満広

〒108-0023 東京都港区芝浦4-19-1

芝浦アイランドケーブタワー-2305号

電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350

Mail:m_hirai@hirai-ao.com

URL:http://www.hirai-ao.com/

キャリアも資産も自分で守る時代！今こそ知っておきたい会計のしくみ

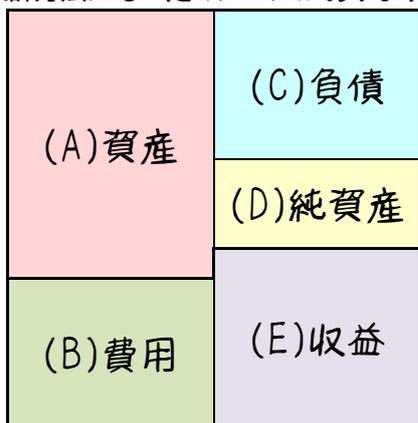
消費税増税で景気は冷え込み、不安定な経済情勢が続きます。国も会社もあてにならない今、自分の生活は自分で守る時代になるかもしれません。そこで今回は、ビジネスマンのキャリアアップや投資家のファンダメンタル分析に欠かせない会計のしくみをおさらいします。

◆会計とは記録すること

会計とは、簡単に言うと“経済活動を記録すること”で、投資家や銀行の投資・融資の判断、経営者の意思決定に有用な情報になります。記録のルールは簡単で、基本的に取引した日、取引した金額、取引した内容を書くだけです。ちなみに取引とは「何かを得て、何かを失う」ということなので、取引内容も2つに分けて記録します。(この記録方法を「複式簿記」といいます)。例えば車を現金で買う場合は「得たモノ(車)」と「失ったモノ(お金)」、電車にスイカで乗った場合は「得たサービス(交通)」と「失ったモノ(チャージ金額)」のように記録します

◆5つに分けて集計する

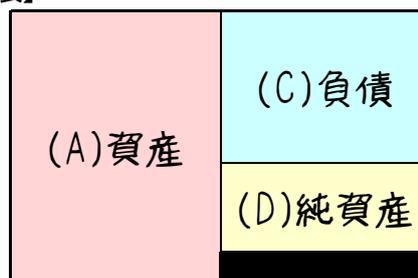
記録のルールはシンプルですが、判断材料や有用な情報として使うとなると、記録の羅列だけでは不十分です。そこで集計方法にも一定のルールがあります。



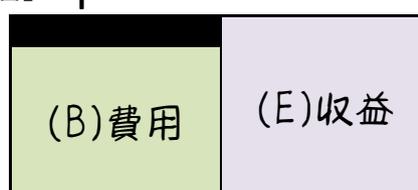
まず、すべての取引記録を上表の5つに分類してプラスマイナスを集計します。「(A) 資産」には“お金を払って得たモノ”、「(B) 費用」には“お金を払って得たサービス”の支払金額を集計します。「(C) 負債」は“お金やモノやサービスを得る代わりに負う責任(キャッシングローンやクレジットカードの支払など)”、「(E) 収益」は“お金を得る代わりに提供したモノやサービス(物品の販売や技術の指導など)”の受取金額を集計します。「(D) 純資産」には“会社とオーナー(株主)の取引金額”を集計します。

ちなみに(B), (E)を抜き出した書類を「損益計算書」、(A), (C), (D)を抜き出した表を「貸借対照表」といいます。

【貸借対照表】



【損益計算書】



◆粉飾決算のカラクリ

会計の記録を改ざんすることを「粉飾決算」といいます。例えば業績を良く見せたい(損益計算書の当期純利益を多く見せかける)ときは、次のパターンがあります。

- ① (E) 収益をでっちあげて利益を増やす
…例) 架空の売上をたてる
- ② (C) 負債の取引を (E) 収益に見せて利益を増やす
…例) 借入金を売上にしてしまう
- ③ (D) 純資産の取引を (E) 収益に見せて利益を増やす
…例) 自社株を高く売って利益を出す
- ④ (B) 費用をひたかくしにして利益を増やす
…例) 仕入や経費を記録しない
- ⑤ (B) 費用を (A) 資産の取引に見せて利益を増やす
…例) 在庫が多いことにする

あやしい決算書を見たときは、まず前期の決算書と比較してみましょう。「(A) 資産の金額が大きく増えている」、「(C) 負債の金額が大きく減っている」、「(B) 費用の伸びに比べて (E) 収益の伸びが大きすぎる」、「(B) 費用の減りに比べて (E) 収益の減りが小さすぎる」などは要注意です。取引記録を細かく確認してもよいかもしれませんね。

このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/